

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和元年9月1日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4671500090
法人名	医療法人一桜会
事業所名	さくらのお家よしだ
所在地	鹿児島市東佐多町269-2 (電話) 099-245-5500
自己評価作成日	令和元年8月7日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和元年8月23日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様がお自分のペースで日々健やかに生活して頂けるよう努めております。特に力を入れている点ですが、季節を感じての生活を送って頂けるよう、季節に応じた活動を利用者様にも参加して頂き行っております。たとえば、梅干し作り・花見・節句・七夕飾り・お節作り・敬老会・クリスマス会等など、昔から継承されている行事ごとを大切にしております。これらの事が生活の中で自然な事として表出され、利用者の方々には嬉々とした表情で参加して下さっております。それに加え、当ホームは庭がとても広くて、その事がアピールできます。広い庭でお茶会や、ご家族や地域の方々とは又違った雰囲気を楽しんで頂いております。クリスマスの時期には、イルミネーションを建物外部全体に飾りつけて地域の方々にも楽しんで頂いております。利用者の方も好きな時に散歩等出来るように努めております。また当ホームは景色がとても良く、利用者の社交場であるリビングのソファから居ながらにして見える窓からの風景は、田んぼの様子だけでも四季を感じる事が出来ます。(春にはれんげの花・田植え・青く育つ稲・黄色に色づく稲穂) 季節の話題には事欠きません。利用者みなさんが、ユニット名のごとく、ゆったり、のんびりと過ごして頂けるように支援に努めています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

法人の理念である「誠明楽生」を基に、「生き生きと日々健やかに楽しい暮らし」をグループホームの理念に掲げ、各部署でのミーティング時やカンファレンスの際に、利用者への支援が理念に即しているかを確認している。管理者は、理念を実践につなげられるよう、利用者の状態や状況に合わせて支援し、接していきたいと考えている。

自治会に加入し、運営推進会議のメンバーである民生委員や地域の消防団員との交流もあるため、地域行事の案内や災害について助言をもらう機会が多い。また、災害訓練に地域住民の参加が得られるほか、近隣企業からは、災害時の避難場所として敷地を提供してもらうなど良好な関係を築いている。

法人内で毎月、身体拘束廃止委員会議を開催し、各部署の取り組みや状況を話し合い、共有した内容は各部署に持ち帰り、報告と説明をすることで振り返り、話し合う機会としている。

食事が楽しみなものになるよう、調理の下ごしらえや台拭き等の一連の工程を職員と共にやり、同じメニューを会話を楽しみながら食べている。また、年2回程度花見やドライブに弁当持参で出かけている。全員で出かけることは難しいため個別で外出に出かける機会を設けるなど、食べる楽しみを大切にしたいと考え支援につなげている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	基本理念は常に念頭に置き地域活動として、福祉フェスタ参加や運営推進会議を行い、吉田の夏祭り実践につとめている。	法人の理念である「誠明楽生」を基に考案された「生き生きと日々健やかに楽しい暮らし」をホームの理念として掲げ、利用者の状況に合わせた支援を理念に即して実践できるよう日々努力している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入し、避難訓練へも地域の方に参加頂くようにしている。地域の行事（鬼火炊き）に声をかけて頂いたり、ホームの行事（夕涼み会）などにも参加して頂いている。	利用者や家族のほか、地域住民も参加する夕涼み会では、地元の太鼓演奏を楽しむほか、中学生による福祉ボランティアの受け入れや、保育園児との交流など、地域住民と触れあう機会を大切にしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	運営推進会議を通じて地域の方に発信している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回、運営推進会議を実施し、状況報告や話し合いを行っている。	会議には、民生委員や行政職員のほか、幼稚園長や消防団員の参加も得られ、事業所の活動内容や利用者状況の報告等を行っている。メンバーからは、熱中症対策についてや、近くに川があるため、大雨の際の避難方法について助言をもらうなど、積極的に意見交換をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>困難事例など包括の協力を得ながら解決に向けて動いている。又、運営会へも参加いただいている。</p>	<p>行政には、相談事がある時や介護認定更新時に出向くほか、運営推進会議でも顔を合わせるなど意見交換する機会が多い。身寄りのいない高齢者の相談に出向き、成年後見制度につなげたケースもあるなど、日頃から連携を図るよう努めている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束廃止委員会を毎月行い、身体拘束ゼロを目指してケアに取り組んでいる。</p>	<p>法人内で毎月、身体拘束廃止委員会を開催し、話し合った内容を各部署に持ち帰り報告している。言葉による拘束については、日常的に気を配り支援しているところだが、間違った対応をしてしまった際は、事務所で確認するようにしている。また、近隣にも理解を求め、見守りや声かけ、連絡してもらえる関係を築いている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>年1～2回は虐待について部署の会議で話し合う機会を作っている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会があり、活用できるよう支援している。。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時や改定の際は口頭で文面の内容説明を行い不安や疑問点を軽減出来る様に努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族会等で意見や要望を述べる機会を作り、要望をお聞きし運営に反映させている。</p>	<p>利用者の好むことや家族の意見を入居時や面会時に尋ね、フェイスシートに記録するほか、入居後も家族会等で意見や要望を確認している。苦情を含め、出された意見は職員会議等で話し合い、今後の対応や支援に反映させている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎月の主任会やミーティング等で職員の意見を述べる場を設け反映させている。</p>	<p>管理者は、若い職員の意見も大切にしたいと考え、毎月の職員会議や個別に話を聞くなど、話しやすい環境に配慮している。また、年2回、人事考課を兼ねた個別面談を実施し、個人目標の確認や運営に関する意見や要望についても把握するようにしている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>処遇改善加算Ⅰや夜勤手当にて、給与面における環境を改善している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	外部研修に参加している。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	年間行事の中で焼肉会やグランドゴルフや忘年会を通じて職員同志の交流を図れるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>本人の要望が出やすくなるように環境づくりに配慮している。なるべく話を聞き、不安を取り除けるように努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>納得していただけるようコミュニケーション作りに努める。ご家族との信頼関係作りに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>関係部署との連携に努め情報収集を行いご本人・ご家族との面談に活かしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>日々暮らしの中でその方の出来ることを把握し自然な形での関わりで対話に努めその方らしさが発揮できるよう配慮している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	行事等でご家族と一緒に過ごせる時間を作っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの方などが面会に気軽に来れる環境作りに努めている。	これまでの馴染みの関係をフェイスシートに記録し、入居後も電話や手紙の取り次ぎのほか、訪問や面会により関係継続に努めている。高齢化に伴い外出の要望は少ないが、希望があれば家族とも協力して支援していきたいと考えている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者間の関係を把握しトラブルを未然に防ぐ努力をしてコミュニケーションのサポートを行い楽しく生活できるように努める。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	一旦退去されても、再入居が可能であることを伝え希望に沿うようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常の会話の中からそれらを把握し、困難な場合は表情や言動、家族からの情報などから本人本位に検討している。	思いをうまく伝えられない場合は、家族や関係者からの意見も参考にしたり、日々、生活する中で見せる仕草や表情等からも汲み取り支援につなげている。把握した内容は、申し送り時や職員会議等で報告し、職員間で共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人、家族、関係機関等から聞き取りや情報交換を行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の観察、申し送り、個別記録、職員間の情報交換、ミーティング等で行っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族との連絡を密にして、同時にカンファレンス、モニタリング等を行い、それぞれの意見やアイデアを反映し作成している。	本人と家族の意見や要望を基に、定期カンファレンスの開催や毎月のモニタリングに加え、主治医や協力医療機関の看護師の意見も参考に介護計画を立てている。主治医へは、照会文書を依頼するなど、丁寧に意見を求めており、介護計画に反映させている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケアの実践、気づき等は、業務日誌や個別のケア記録に記入している。申し送り、ミーティング等で情報交換しながら計画の見直しを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々生まれるニーズには対応するように心がけているが、サービスの多機能化が出来ているとは言えない。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	一人ひとりにそれぞれの地域資源を十分活用しているとは言えない。歯科医の訪問診療、地域住民との交流の場として夕涼み会への招待を行っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医との連携を図りながら適切な医療を受けられるようにしている。	月2回、利用者全員が母体医療機関の医師による訪問診療を受けられ、利用者、家族の安心につながっている。診療内容は、個人カルテに記録しており、朝夕の申し送り時や必要に応じて随時報告することで情報を共有している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>毎朝の申し送りを通じて、法人の医療連携看護師や現場看護師と連携を図っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院時は速やかにホームでの生活状況を情報提供し、他職種との連携を図り安心した入院生活が出来る様に努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居の段階で重要事項説明書の中で重度化に対する指針、看取りに関する指針を説明し、その時には十分な話し合いが必要であることを説明している。</p>	<p>入居時に「重度化対応に係る指針」と「看取りに関する指針」を説明し、入居後も変化する本人や家族の思いを確認する必要があるため、繰り返し説明し同意を得るようにしている。また、職員は定期的に研修会を開催し、知識の向上を図ると共に、関係者間で連携を図り、チームで支援していきたいと考えている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>事故発生、急変に備え基本的な流れはマニュアル化する事で戸惑う事がないようにしている。誤嚥についての訓練を実施した。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>防災マニュアルを作成している。地域の方より緊急避難場所としての協力を頂いている。</p>	<p>年2回、火災を想定した訓練を、地域住民の参加のもと実施することができた。地域住民には主に見守りをお願いし、気付いたことを意見として収集することができた。備蓄は、飲料水やレトルト食材等を約3日分程度確保すると共に、カセットコンロや懐中電灯等も備えている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの話に耳をかたむけて拒否をしないすべて受け入れる対応をしている。	権利擁護についての研修を定期的に行い、トイレ誘導時の声かけに気を配るなど、利用者の気持ちに配慮した支援につなげている。個人カルテの保管場所やポータブルトイレを使わない時はシーツを被せ見えないようにするなど、プライバシー確保に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	どっちでもよいという言葉で自分で決めてもらうように働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	今日は何をしたいか何を望んでいるかをたくみに引き出すように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	その人の好みを聞き出して身だしなみに興味を持ってもらうよう支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節の食べ物や旬の食べ物を語らいながら食べていただいている。	調理の下ごしらえや盛りつけ、台拭き等、できることに参加してもらい、時に味付けの意見をもらうこともある。また、菜園で採れた旬の野菜を食材として使用し、同じメニューの食事を利用者と職員が会話を楽しみながら一緒に食べている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	家族の協力をいただきながら家で飲まれていたものなどを飲んでもらっている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事の後は必ず口腔ケアをするという事を習慣づけている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	なるべくトイレに行くことを重視して、本人の希望を聞きながら支援している。	ポータブルトイレを使用している利用者も、日中はトイレでの排泄を基本とするなど、可能な限り自然排泄に努めている。また、おむつ着用で退院した場合は、リハビリパンツや尿取りパットに切り替えられるようケアプランに組み込み、職員全員が同じ認識の下で支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給を心掛けて、10時のお茶や3時のお茶を飲んでいただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴拒否のある方は、衣類のかえ、心身の気持ちのよさなど声かけし、入浴の支援をしている。又、体調に合わせた入浴支援を合わせて行っている。	入浴日以外でも排泄の失敗時等に入浴することができ、また希望があれば可能な限り入浴できるようにしていきたいと考えている。冬至にゆず湯を提供したり、同性介助への対応や入浴前後の水分補給にも気を配っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	リビングのソファや、居室などご自分の体調や気分に合わせて過ごしたい所で、自由にその日を過ごして頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	症状の変化に配慮し主治医との連携を密に服薬の支援に努めている。又誤服薬がないよう職員で確認を重ねて服用いただいている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者の状況に応じて負担にならないよう、散歩・花見・料理の下ごしらえ・洗濯物たたみなど手伝っていただき気分転換の支援に努めている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	季節ごとにドライブやピクニックをしている。ご家族で出かけられることもある。	初詣や季節の花見ドライブなど、年間計画を立て出かけるほか、家族の協力ももらいながら個別に希望する外出先に出かけている。高齢化による重度化に伴い、外出の希望は減ってきているが、室内ばかりではストレスにつながるため、車椅子や車椅子対応車を利用して出かける機会を設けている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	該当者なし。		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	電話をかけたいと希望があればその都度対応している。		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	壁画は定期的に変更し、玄関等にも毎日ではないが、花を生けて目で楽しんでもらうようにしている。また、リビング・脱衣所に温室時計を設置して快適に過ごせるようにしている。	明るいうリビングからは、緑豊かな自然が広がっており、毎年1月に行われる鬼火焚きの様子を眺めることができる。また、クリスマスシーズンには、ホーム全体をイルミネーションで飾ることが恒例になっており、過去に新聞に掲載されたこともある。トイレは各ユニットに3箇所ずつあり、1箇所は浴室と続いているため動作しやすい。	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	リビング、ダイニングにてご自分の普段のほしいの定位置がありそこでレクリエーションや他者との会話等、思い思いに過ごしていただいている。又、隣のユニットにもお互いに行き来できる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人様の使い慣れた物を居室に持ってきて頂いている。写真を飾ったり、明るい居室作りに努めている。本人様の動きやすい配置に配慮している。	テレビや椅子、位牌等を自宅から持ち込み、個々の動線に合わせた環境の下で自由に過ごしている。また、携帯電話を使う方もおり、家族や知人との会話を楽しみながら自分の時間を有意義に過ごしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレには入っているか否かわかるようにし、居室にも鈴をつけるなど本人にわかるよう、また自身の力で他者を呼べるようしている。		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない